

令和2年度 生産者手取り最大化実践メニュー

物財費削減、労働費低減、生産性向上に資するメニューに最大限取り組むことにより、生産者手取りの最大化をめざします。

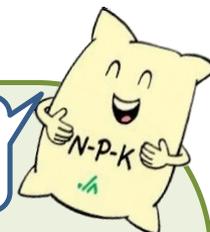
令和2年3月
JA全農にいがた 担い手・営農支援部

令和2年度 生産者手取り最大化実践メニュー 一覧表

項番	物財費削減	単位	項番	労働費低減	単位	項番	生産性向上	単位
1. 肥料・農薬費の低減			1. 育苗・直播技術			1. 収量品質向上・需要確保		
1	水稻用JA県下統一肥料の普及拡大	トン	10	水稻高密度播種の導入	ha	21	土づくり肥料の施用	トン
2	一般高度化成肥料の銘柄集約	トン	11	水稻直播栽培(鉄コーティング)の導入	ha	22	☑️オーダーメイドBB肥料の活用	トン
3	肥料・農薬の直送対策	経営体	2. 施肥の省力化			23	複数年契約栽培(コシヒカリ、こしいぶき)の取り組み	トン
4	☑️フレコン規格肥料の取り扱い	トン	12	肥効調節型肥料入り銘柄の活用	トン	24	水稻多収性品種の導入	ha
5	担い手直送規格農薬の拡充	ha	13	苗箱まかせ®による水稻育苗箱全量施肥	トン	25	大豆の生産性向上	ha
2. 機械費の低減			14	水稻流し込み施肥	トン	2. 園芸の新規導入・拡大		
6	農機シェアリース(大型コンバイン)	台	15	ドローンによる水稻施肥	トン	26	園芸品目の生産拡大	ha
7	「JAグループ共同購入」トラクターの開発	台	3. 除草の省力化			27	加工・業務用向け野菜の生産	ha
8	園芸振興用農業機械の貸し出し	台	16	豆つぶ剤・顆粒水和剤による防除	ha	28	養液栽培システムの導入	セット
3. 段ボール資材価格の引き下げ			4. 園芸の省力化			3. 営農排(かん)水の改善		
9	全国標準規格段ボール箱への集約	品目	17	野菜収穫機の導入	台	29	地下水水位制御システム「FOEAS」の導入	ha
			18	生分解性マルチの活用	本	30	農業機械の活用による「土づくり」	台
			5. 水管理の省力化			4. ICT等による生産の効率化		
			19	自動給排水装置の導入	台	31	営農管理システム(Z-GIS)の導入	経営体
			6. 米の出荷作業の軽減			32	営農計画策定支援システム(Z-BFM)の活用	経営体
			20	米のフレコン出荷の拡大	トン	33	ドローンの活用	台
						34	GPSを活用した農業機械の導入	台

取り組み内容

現地試験を実施して今までの肥料（地域銘柄）と変わらない評価を頂いています。



県内JAの水稲用肥料を集約して、コスト低減を図ります！

県内で約90種類の地域銘柄が存在したため、製造コストが増加・・・

〈これからは…〉 **越後の輝きシリーズ** に集約して**コストを低減！**



- コシヒカリ用の5割減々・3割減々栽培を対象とした有機銘柄の集約をすすめています。
- 令和3年作向けに、3割減々栽培用の「**有機30元肥・有機30穂肥（分施タイプ）**」を新たにラインアップ。

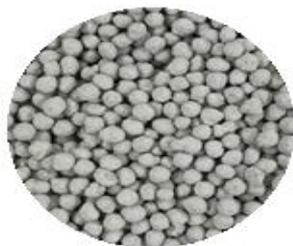
※その他、畑作肥料（汎用タイプ）は「あい菜名人」に銘柄集約して、コスト低減に取り組みます。

取り組み内容

肥料銘柄を集約・予約結集・集中生産によりコスト低減を図ります！
→ **安心・安全の国内生産です。**



・粒径：2～4mm
・仮比重：約1.0



具体的取り組みイメージ

1. 集約銘柄と参考価格のご提示
2. 予約注文受付、数量結集と取りまとめ
3. 積上げた数量に基づき最も有利な価格・工場を決定
4. 集中生産の実施
5. 良質で安価な肥料を組合員の皆様にお届け

新潟県内JAでは、「**国産化成肥料オール14**（窒素14%-リン酸14%-加里14%）」を主体に取り組んでいます。

予約数量を積み上げ、**最大限コスト引き下げ**を図ります。

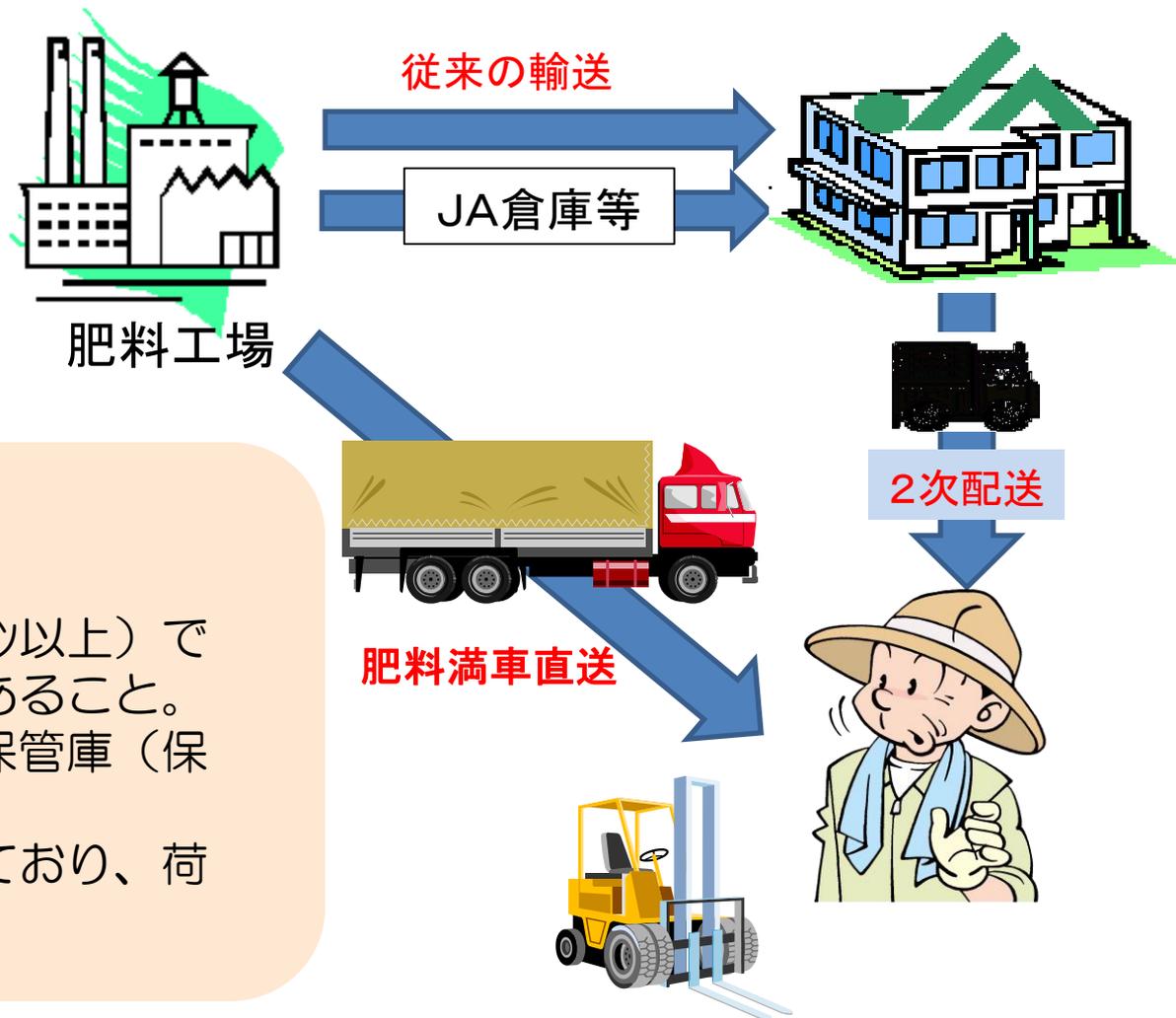
3 肥料・農薬の直送対策

○工場等から大規模な担い手農家まで、トラック満車で肥料・農薬を直送することにより、物流コストを引き下げた価格を設定します。

- 新潟東港にある工場やSP倉庫から、生産者へ満車で直送
(一部対象外の商品あり)
- 中継地点排除による物流合理化

対象担い手の条件

- トラック車単位満車（4ト以上）で1ヶ所での引取が可能であること。
- トラックが横付け可能な保管庫（保管場所）があること。
- フォークリフトを保持しており、荷降しが可能であること。



4 ⑧フレコン規格肥料の取り扱い

- BB肥料(土づくり肥料含む)や培土のフレキシブルコンテナ(フレコン)による供給です。
※解袋や施肥後の空袋処分が簡単、共同散布を行うことによるコスト低減

フレコンの活用で省力化



解袋の手間や空袋の減少

例 20kg×50袋 ⇒ フレコン1袋



施肥機への投入風景

<参考> ペースト肥料(メーカー品)の液体コンテナ供給



コンテナから容易に小分け



三菱田植機LV6 (新2段施肥対応)

5 担い手直送規格農薬の拡充

- 「担い手直送規格」はスケールメリットに加えて、完全受注生産、メーカーからの直接配送など徹底した物流コストの削減により価格引下げを可能にしました。
- 通常規格（10a相当）⇒ 大型規格 ⇒ 担い手直送規格（4ha相当）で、より大きなコスト低減効果を実感。

□担い手直送規格農薬ラインナップ(令和2年産用)

○水稲用除草剤

No	品名	取扱メーカー	規格	面積 換算
1	ウイナー1キロ粒剤51	北興化学工業(株)	40kg	4ha
2	カチボン1キロ粒剤51			
3	キマリテ1キロ粒剤			
4	キマリテフロアブル★			
5	ピンワンジャンボ(新潟県独自規格)		20L	
6	ブイゴールSM1キロ粒剤		24kg	
7	メテオフロアブル★		40kg	
8	ワイドショット1キロ粒剤		20L	
9	エンペラー1キロ粒剤★	クミアイ化学工業(株)	40kg	4ha
10	エンペラー豆つぶ250★		10kg	
11	ガンガン1キロ粒剤		40kg	
12	ガンガン豆つぶ250		10kg	
13	トップガンGT1キロ粒剤51		40kg	
14	ナギナタ豆つぶ250		10kg	
15	パワーウルフ1キロ粒剤51★		40kg	
16	プライオリティ1キロ粒剤★		40kg	
17	プライオリティ豆つぶ250★		10kg	
18	ベッカク1キロ粒剤★		40kg	
19	ベッカク豆つぶ250★		10kg	
20	ベンケイ1キロ粒剤		40kg	
21	ベンケイ豆つぶ250		10kg	
22	ヤブサメ豆つぶ250		10kg	
23	アツパレZ1キロ粒剤		協友アグリ(株)	
24	アツパレZジャンボ	16kg		
25	サラブレッドKAI1キロ粒剤	40kg		
26	サラブレッドKAIジャンボ	16kg		
27	ジェイフレンド1キロ粒剤	40kg		
28	ジェイフレンドジャンボ	16kg		
29	デルタアタック1キロ粒剤	40kg		
30	デルタアタックジャンボ	16kg		
31	バッチリジャンボ(新潟県独自規格) ※40a分のサンプル添付	16kg		
32	ピラクロン1キロ粒剤★	40kg		
33	ピラクロンジャンボ★	12kg		

〈つづき〉

No	品名	取扱メーカー	規格	面積 換算
34	コメット顆粒	日産化学(株)	4kg	5ha
35	コメット1キロ粒剤		40kg	4ha
36	シグナス1キロ粒剤★			
37	シリウスエグザ1キロ粒剤			
38	ベクサーフロアブル★	三井化学アグロ(株)	20L	4ha

○水稲用育苗箱施用剤

39	Dr. オリゼプリンススピノ粒剤6	北興化学工業(株)	40kg	(4ha)
40	Dr. オリゼパディート粒剤			
41	スクラム箱粒剤★			
42	ファーストオリゼパディート粒剤			
43	プリンス粒剤	日本農薬(株)	200kg	(20ha)
44	アブライフェルテラ粒剤	三井化学アグロ(株)	40kg	(4ha)
45	ツインキック箱粒剤	パイエルクロップサイエンス(株)	40kg	(4ha)
46	ルーチンアドスピノ箱粒剤			

★新規追加品目

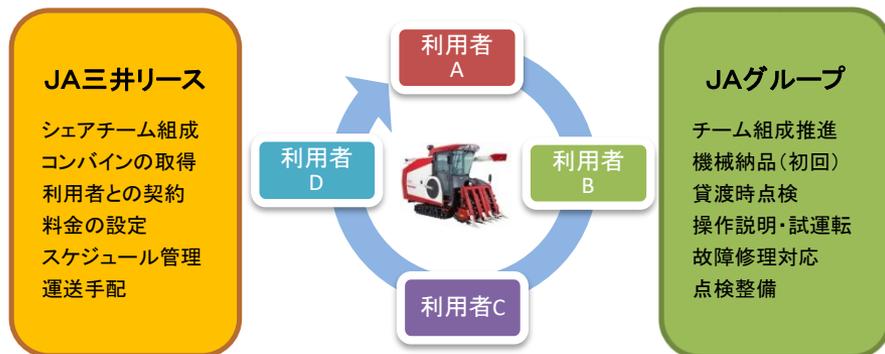


6 農機シェアリース (大型コンバイン)

○大型コンバインのシェアリングにより高額な機械の共同利用を促進し、生産者の年間の機械利用経費の低減に寄与します。

<農機シェアリースの概要>

年間の稼働時間が少なく、高額な大型コンバインを、作業時期の異なる4軒の生産者で共同利用していただきます。



※契約期間は2年間、年間15日間または20日間の利用が条件です。
 ※利用料金は利用開始月により異なります。
 ※契約は、JA三井リースと利用者間で締結します。

<利用者のメリット・デメリット>

メリット	デメリット
<ol style="list-style-type: none"> 1. 農機コストの低減ができます。 2. 格納整備費用や農閑期の車庫が不要です。 3. 規模拡大途上の0.5台需要を満たし、効率的な機械利用ができます。 4. 新品～2年目のコンバインを使用するので、古い機械に比べてトラブルの不安が減少します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームが組成できない場合、お断りすることがあります。 2. 共同利用のため、利用要件やルールが厳格です。 3. 天候不良の場合でも、利用日の変更はできません。 4. 代車はありません。

<利用者の要件> ※1～3を満たす生産者を対象とします。

1. コンバインを1台以上所有していること
2. セルフメンテナンス(注油、刈刃・消耗部品交換、返還時清掃)スキルを有していること
3. 圃場間移動の自走が1km以内であること、または6条刈コンバインを搬送可能な車両を所有していること

<シェアリース利用による農機コスト低減例>

対象機種: ヤンマー 6条刈自脱型コンバイン
 YH6101QJU(分草パイプ付)
 メーカー小売価格: 13,110千円(税抜き)

【年間経費の比較】(税抜き)

購入		農機シェアリース	
項目	金額	項目	金額
減価償却費(年間)	1,500千円	シェアリース利用料金(9月開始・15日間)	1,350千円
税金・保険料・車庫費等	〇〇千円		
格納点検・修理整備料	△△千円		
合計	1,500+(諸費用)千円	合計	1,350千円

例えば、シェアリース機を年間15ha利用した場合、購入と比べて年間30万円以上のコスト低減が可能!

※シェアリースの利用料金には、の費用が含まれています。(燃料、注油オイルなどの消耗品代、セルフメンテナンス費用は除く)
 ※利用者の責による故障の修理費用は、利用者の負担となります。
 ※購入時の年間減価償却費は、7年定額法で試算しています。
 ※上記シェアリース利用料金は、9月開始・15日間の場合です。

○「JAグループ共同購入」は、全国的なJAグループの組織力を活かし、事前に積み上げた購入意向台数を背景に、全農が大量・一括購入をする事で生産者の皆さまへ農業機械をより安く供給する取り組みです。

○充実機能を備え、今までにない圧倒的な低価格を実現した「大型トラクター(60馬力)」につづいて、あらたに「中型トラクター(28~35馬力)」に取り組みます。

【第1弾 大型トラクター (60馬力)】



ヤンマー
YT357J, ZUQH
(ホイール仕様)

参考生産者価格
350万円(税別)

小売:534万円(税別)

※ 半クローラ仕様もあり

＜累計納入台数(令和元年12月末受注まで)＞

新潟県43台(全国1,617台)

※「共同購入トラクター」は受注生産です。
発注はお早めをお願いします。
(発注期限:令和2年11月末)

【第2弾 中型トラクター (28~35馬力)】

○大型トラクターにつづき、全国1万人以上の生産者および生産者代表との意見交換をもとに、主要メーカー4社に対し中型トラクター(28~35馬力)の開発要求をおこないました。

○メーカー・価格等の仕様決定および受注開始は令和2年7月を予定しています。

＜全国1万人以上の声を反映した 厳選機能(一部)＞

28~35馬力

前後進含め
ノークラッチ変速

長時間作業可能
な燃料タンク

作業機の
自動水平制御

自動耕深制御

オートブレーキ・
倍速ターンなど

＜取扱い目標台数＞

全国2,000台(新潟県20台(令和2年度))

○平成23年度より、園芸生産拡大支援としてJA全農にいがたが園芸機械を所有し、JAを通じて、貸し出しをおこなっています。

○おもに2つのメニューで園芸生産を行う生産者の機械導入コストの低減と労力軽減を後押しします。

<JA全農にいがた園芸機械貸し出しメニュー>

①「ほ場排水性改善・輪作導入支援」

水田を活用した園芸生産で課題となる「圃場の排水対策」と「輪作導入」に必要な機械を貸し出し、省力化と規模拡大を支援。



<2019年度 貸し出し実績>

- 利用JA : 9JA
- 面積 : 2, 240a

※主な利用品目

たまねぎ、キャベツ、ブロッコリーほか

②「地域実態に応じた野菜等産地形成支援」

各地域特有の品目や各JA重点推進品目の「産地形成と共販出荷の拡大」を支援するため、必要な機械を貸出し。



<2019年度 貸し出し実績>

- 利用JA : 8JA
- 面積 : 4, 580a

※主な利用品目

枝豆、長ネギ、にんじん、たまねぎほか

9 全国標準規格段ボール箱への集約

- 段ボール箱の規格を集約し、ロットを大きくすることで、段ボール資材価格の引下げをはかります。

輸送用パレットに最適な全国標準規格段ボール箱に集約。

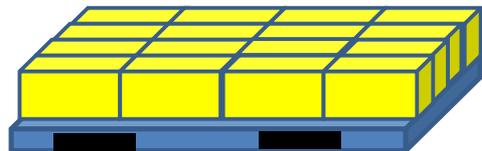
需要を結集して、低コスト化を追及。

- まずは、全国指定野菜のうち4品目（**タマネギ10kg**、**サトイモ10kg**、**ニンジン10kg**、**バレイシヨ10kg**）から量目・輸送距離別の標準規格を決定し、実需を積み上げ、**該当品目規格の3割程度を目標に標準規格へ集約**する。

○ タマネギ・サトイモは、平成29年度から集約開始。

○ ニンジン・バレイシヨは、令和2年度から集約開始（予定）。

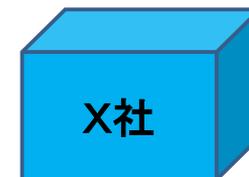
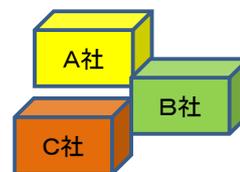
パレットに最適なサイズの箱を設計



はみ出さない

はみ出さない ⇒ 強度抑制可 ⇒ 価格低減へ

複数社にまたがった需要をまとめる



製造ロット拡大 ⇒ 製造効率向上 ⇒ 価格低減へ